

## 平成18年度測定結果(確定値)

## 環境基準

		NO <sub>2</sub>	S P M
環境基準		1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
評価方法	長期的評価 (必要データ数は6000時間/年)	年間における1日平均値のうち、測定値の低い方から98%目に相当するもの(98%値)を環境基準と比較して評価する。(1時間値の1日平均値の年間98%値が、環境基準である0.06ppm以下であるか比較)	年間における1日平均値のうち、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最高値(2%除外値)を環境基準と比較して評価する。(1時間値の1日平均値の2%除外値が、環境基準である0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であるか比較) ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、環境基準に適合しないこととする。
	短期的評価		1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

- 注) 1. NO<sub>2</sub>の環境基準は「二酸化窒素に係る環境基準について」(S53.7.11環境庁告示第38号)「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」(S53.7.1環大企第262号環境庁大気保全局長通知)による。  
2. S P Mの環境基準は「大気汚染に係る環境基準について」(S48.5.8環境庁告示第25号)「大気汚染に係る環境基準について」(S48.6.12環大企第143号環境庁大気保全局長通知)による。

## 長期的評価

観測箇所	路線名	観測局	NO <sub>2</sub>				S P M			
			1時間値の1日平均値の年間98%値 (単位: ppm)				1時間値の1日平均値の2%除外値 (単位: mg/m <sup>3</sup> )			
			H17	適否 (環境基準)	H18	適否 (環境基準)	H17	適否 (環境基準)	H18	適否 (環境基準)
静岡市	国道1号	大岩	0.032		0.029		0.061		0.062	
	国道1号	七ツ新屋	0.039		0.040		0.068		0.060	
富士市	国道139号	伝法	0.044		0.045		0.082		0.082	
沼津市	国道1号	大諏訪	0.059		0.056		0.082		0.077	
	国道246号	岡一色	-	-	0.055		-	-	0.078	
静岡市	国道52号	興津中町	-	-	0.038		-	-	0.070	

注) H17の岡一色局は測定時間が6,000時間未満のため評価をおこなっていない。  
興津中町局の測定はH18.4からである。

## 測定結果のコメント

### ・大岩局

大岩局は、静岡市葵区内の国道1号静岡バイパス沿道にある観測局です。国道1号静岡バイパス（高架部）の道路下端（下り車線側）に設けられており、平成15年4月より観測を行っています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の観測結果は、平成17年度同様、環境基準の設定されている二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、浮遊粒子状物質（SPM）とも比較的低濃度で推移しており、長期的評価による環境基準を満足しています。

### ・七ツ新屋局

七ツ新屋局は静岡市清水区内の国道1号沿道にある観測局です。国道1号の下り側車線の道路端に設けられており、平成15年4月より観測を行っています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の観測結果は、平成17年度同様、環境基準の設定されている二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、浮遊粒子状物質（SPM）とも比較的低濃度で推移しており、長期的評価による環境基準を満足しています。

### ・伝法局

伝法局は富士市伝法内の国道139号沿道にある観測局です。国道139号の上り側車線の道路端に設けられており、平成17年4月より観測を行っています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の観測結果は、平成17年度同様、環境基準の設定されている二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、浮遊粒子状物質（SPM）ともほぼ横ばいに推移しており、長期的評価による環境基準を満足しています。

### ・大諏訪局

大諏訪局は沼津市椎路春ノ木内の国道1号沿道にある観測局です。国道1号の下り側車線の道路端に設けられており、平成17年4月より観測を行っています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の観測結果は、平成17年度同様、環境基準の設定されている二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、浮遊粒子状物質（SPM）ともほぼ横ばいに推移しており、長期的評価による環境基準を満足しています。

### ・岡一色局

岡一色局は沼津市岡一色丸尾内の国道246号沿道にある観測局です。国道246号の上り側車線の道路端に設けられており、平成17年12月より観測を行っています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の観測結果は、環境基準の設定されている二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、浮遊粒子状物質（SPM）とも、長期的評価による環境基準を満足しています。

### ・興津中町局

興津中町局は静岡市清水区内の国道52号沿道にある観測局です。国道52号の下り側車線の道路端に設けられており、平成18年4月より観測を行っています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の観測結果は、環境基準の設定されている二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )、浮遊粒子状物質（SPM）とも、長期的評価による環境基準を満足しています。

平成18年度測定結果（確定値）

環境基準との比較

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度の環境基準との比較

環境上の条件 測定局	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値の 最高値 (ppm)	日平均値が 0.06ppm超過 の日数 (日)	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数 (日)	日平均値の 98%値(ppm)	環境基準 適合： 不適合：×
大岩	360	8543	0.017	0.069	0.035	0	0	0.029	
七ツ新屋	360	8572	0.025	0.107	0.045	0	8	0.040	
伝法	361	8572	0.030	0.079	0.053	0	32	0.045	
大諏訪	349	8297	0.036	0.108	0.066	3	141	0.056	
岡一色	348	8282	0.033	0.117	0.069	2	94	0.055	
興津中町局	361	8572	0.024	0.075	0.042	0	4	0.038	

ω

浮遊粒子状物質（SPM）濃度の環境基準との比較

環境上の条件 観測局	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値が 0.2mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数 (時間)	日平均値が 0.1mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 (日)	日平均値の 2%除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた 日が2日以上連続 したことの有無 有× 無	環境基準 適合： 不適合：×
大岩	359	8612	0.025	0.285	0.093	5	0	0.062		
七ツ新屋	343	8239	0.028	0.184	0.070	0	0	0.060		
伝法	361	8658	0.034	0.296	0.110	6	1	0.082		
大諏訪	360	8646	0.039	0.362	0.112	11	1	0.077		
岡一色	361	8657	0.034	0.320	0.115	6	1	0.078		
興津中町局	361	8659	0.030	0.276	0.098	4	0	0.070		